



福島交通株式会社

一般乗合旅客自動車運送事業、一般貸切旅客自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業・鉄道事業



4「車両整備課が安全に運行するためのバスの定期点検などを行っている」
5「郡山支社の事務所では、日報の処理をはじめ、施設や健康診断などの管理業務を行っている」
6「バスの運転中に何事もなく無事に事務所に戻り、「お疲れさま」と言える瞬間がほっとします」と微笑むバス運転士・宗像亮兵さん

「福島交通」は、県民の足として地域の暮らしを支えるための公共交通機関で、福島県中通りを中心に県内のバス事業を担っている。乗合バスや高速バスでは日常生活に密着した県内外への移動手段を提供し、貸切バスでは安全で楽しい旅の時間を提供している。また、鉄道においても福島駅と飯坂温泉駅を結ぶ飯坂電車を営業し、「いいでん」として福島市民や観光客に親しまれている。

近年、高齢化や環境意識の高まりで公共交通事業への注目度が高まり、今後、運転免許証の返納が増えてくるとバス利用の増加も期待される。バス運行を通して地域を活性化し、高齢者の元気と健康の維持が可能な社会に貢献できるのも同社の魅力。地域に必要とされながら快適な生活を支えている。また、東北で最も早くICカードを導入し、顧客データの分析でお客様のニーズを可視化。時代に合ったマーケティングを可能にした。

バスと鉄道を安全に運行し快適な暮らしを支え続ける

アットホームな職場で幅広い世代が活躍できる

同社は10代から70代まで幅広い世代が活躍し、同じ目標に向かって活躍している。アットホームな雰囲気も特徴でいつも笑いが絶えない。「ベテランの先輩から新入社員まで楽しくコミュニケーションが取れるので自分にとってプラスになる職場です」と話す運転士の宗像亮兵さん。総合職で入社し、運行管理などを経て6年前に大型一種免許を取得。現在は運転士として県内外を走行し活躍している。

同社では運転士の養成コースもあり、資格取得費用を負担してくれるでの憧れの運転士を目指すこともできる。

「お客様からの「ありがとう」を心に“県民の足”として地域に貢献！」



「安全第一に緊張感を持ちながら運転をしています」。美しく並んだ福島交通のバスの前で運転士さんが集合



1 時代のニーズに応え、バス運賃の支払いに使用できるICカード「NORUCA」を導入。各種クレジット決済も可能になった
2 SDGsにも配慮し、電気バスの導入をスタート。車内ではUSBポートを使用できるのが便利
3 歴史を感じる福島交通郡山支社の社屋。広い敷地には、建物を囲むように大型バスの駐車場と洗車場、車両整備の場所が配されている

会社情報

■ 設立 1986年(昭和61年)
■ 代表取締役社長 武藤 泰典
■ 資本金 1億円
■ 従業員数 695名(2025年12月現在)

〒960-8132
福島県福島市東浜町7-8
TEL／024-533-2131
FAX／024-531-6683

■ 求人対象
高卒 専門卒 短大卒
大卒 中途

■ インターンシップ
可能 [体験期間] 1~2日
[申込方法] 電話

■ 採用担当者連絡先
TEL／024-533-2161
E-mail／fkk-saiyou@fukushima-koutu.co.jp

業務内容

- 一般乗合旅客自動車運送事業
福島県中通りを中心に路線バスを運行。仙台、会津、いわきをはじめ、新潟、大阪、京都、名古屋、新宿などへの高速バスも運行している
- 一般貸切旅客自動車運送事業
観光(貸切)バスを利用しての観光地への運行をしており、安全で満足度の高い旅を提供している
- 特定貨物自動車運送事業・鉄道事業
福島駅と飯坂温泉駅を結ぶ飯坂電車(通称“いいでん”)を運行している